

誰一人取り残さない… わかるまで！ できるまで！

放課後の個別指導教室 「ふじみ寺子屋」 始めます



※ 詳細は、保護者会にて説明します。

学びのポイント

ふじみ寺子屋は、一人一人の学びの特性に特化した放課後の補習教室です。1年間の学びを通して、すべての児童の「わかった！」「できた！」を育み、自己肯定感を高めながら、学びに向かう力を養います。



小さな自信が、次の「やる気」、次の「わかった」「できた」につながっていきます。

東京ベーシック・ドリル診断シート

自信 「学びに向かう力」「意欲」「学び続ける力」の育成

学力

達成目標

理解が十分な児童 10%UP
更に理解を深めてほしい児童 50%UP
理解が不十分な児童 100%UP

喜び

東京ベーシック・ドリル「診断シート」A→B 正答率の達成目標例：Xさん 80%→90% Vさん 50%→80% Qさん 20%→50%

学習は継続性と習慣化することが大事です。そのため、**毎週1回(金)の放課後**、継続して実施しています。**学習時間の総量**を確保するとともに、**学習習慣の定着**を図ります。



授業が基本です。寺子屋だけ頑張っても、学力はつきません。家庭における復習や反復練習も大切です。本校では、**授業、寺子屋、家庭学習(宿題)**を結びつけて取り組みます。



個に応じた指導が重要です。「個に応じた」とは、同じ問題ができないとしても、**どこでつまづいているか、何が理解できないかなど、個によって違いがある**ということです。児童理解と評価に基づいた個別指導を徹底します。

一斉指導+オリジナル教材での個別指導

お子さんと相談の上、保護者の方が申し込んでください。教科や单元ごとに、習熟の程度により、**必要性の高い児童**を参加対象として担任が判断します。

平日 参加者：各学級5人以内
指導者：各学年2~3人
夏休：参加者：各学年10人以内

習熟度別指導や複数教員による指導を用いても基礎基本の習得が困難な児童に対して、専門性の高い指導が不可欠です。そのため、外部指導員やボランティアに頼ることなく、日常から児童を理解している**教員が中心的に指導**します。

指導体制：教員2~3人+α

児童

“**学びの特性**”は一人一人違います。マニュアル(同一の指導方法)は、通用しません。真の学力を付けるために、ドリル中心ではなく授業形式で、個別の問題・個別の指導方法で「わかるまで」「できるまで」指導します。**それが「ふじみ寺子屋」**です。